

■学内共同教育研究施設

施設	設置年度	設置目的
生物環境調節センター	昭. 41	学内の生物学関連分野に制御環境を提供するとともに、生物環境調節に関する研究を推進する。
熱帯農学研究センター	昭. 50	本学における熱帯農学に関する研究及び教育を行う。
アイントープ総合センター	昭. 55	アイントープ関係の教育研究を行うとともに、アイントープの安全管理を総括し、アイントープを利用して教育研究を行う教員その他の者の共同利用に供する。
中央分析センター	昭. 57	本学教員その他の者が研究教育上必要な分析及び試料作成を行う。
留学生センター	平. 4	外国人留学生に対する日本語、日本文化・日本事情等の教育及び修学・生活上の指導助言を行う。また、海外留学を希望する学生に対する修学・生活上の指導助言、留学生交流の推進に関する業務を行う。
総合研究博物館	平. 12	学術標本の収蔵、分析、展示・公開及び学術標本に関する教育研究の支援並びにこれらに関する調査研究を行うとともに、学内外の教育研究活動に寄与する。
システムLSI研究センター	平. 13	システムLSIの応用・設計・製造・検査に関する技術を総合的に研究し、その学問体系の確立と高度情報化社会における当該技術の利用について調査研究を行う。
宙空環境研究センター	平. 14	宙空環境変動(宇宙天気)の予報や宇宙ゴミの警報などの実用化に向けた新しい宙空環境科学の創成のための調査研究を行う。
韓国研究センター	平. 14	韓国を中心とする朝鮮半島地域の学際的で総合的な研究を行うとともに、国内外の関連研究者との共同研究をコーディネートし、韓国研究の結節点として機能する。
医療系統合教育研究センター	平. 15	医学、歯学、薬学及び保健学の分野の教育における共通基盤教育(以下「医療系統合教育」という。)に関する研究を行い、その改善充実に資するとともに、医学部、歯学部及び薬学部が行う医療系統合教育に係る企画及び実施を支援する。
高等教育開発推進センター	平. 18	高等教育に関する研究開発を行うとともに、全学教育、学府共通教育、教育プロジェクト等の実施及び推進並びに入学者選抜方法、学生生活・修学支援等の開発、企画及び実施を行うことを目的とする。
超伝導システム科学研究センター	平. 15	超伝導システム科学に関する基礎から各種情報、エネルギーシステムへの応用までを目指した研究・教育を包括的に行う。
感性融合創造センター	平. 15	仮想環境創造教育研究部門、実体環境創造教育研究部門、感性情報応用創造教育研究部門及びデザイン・アーカイブ教育研究部門の4つの教育研究部門からなり、芸術的感性の諸科学への融合による新しい価値の創造と有為な人材の育成を目的とした教育及び研究を行う。
産学連携センター	平. 15	本学と産業界との研究協力及び学術交流を推進するとともに、地域社会への貢献に資することを目的とする。
超高圧電子顕微鏡室	昭. 50	電子顕微鏡(電顕)観察用試料の作製、電顕写真並びにデータ処理を行う等超高圧電顕による研究を推進する。
特殊廃液処理施設	昭. 57	本学の教育研究活動によって発生する無機系、有機系廃液及び固形廃棄物を適正に処理する。
西部地区自然災害資料センター	平. 元	九州地区及び山口県における自然災害に関する資料を収集・整理し、本学の教員その他の者の求めに応じて資料を検索・提供するとともに、自然災害に関する研究を行う。
電離気体実験施設	平. 2	電離気体に関する実験・研究を行う。
大学文書館	平. 17	本学に関わる法人文書等の資料を収集・整理・保存し、大学及び大学の歴史に関する調査研究を行うとともに、その資料を、学生、職員その他一般の利用に供する。
量子線照射分析実験施設	平. 7	各種量子線の照射及び分析に関する研究を支援する。
ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー	平. 8	本学の大学院において、ベンチャー・ビジネスの萌芽ともなるべき独創的な研究開発を推進するとともに、高度の専門的職業能力を持つ創造的な人材を育成する。
アドミッションセンター	平. 15	アドミッションオフィス方式(総合評価方式)入学試験の実施を行う。
水素利用技術研究センター	平. 16	水素の製造・供給、利用及び安全評価に関する技術を総合的に研究し、その学問体系の確立と、環境と調和した高度エネルギー利用社会における当該技術の利用について調査研究と技術の確立を行う。
未来化学創造センター	平. 17	未来化学の拠点として、ナノテクノロジー、フォトニクス及びバイオテクノロジーを基盤とした新産業創出のための新規化学技術に関して集中的かつ有機的連携のもとで研究を推進し、その学問体系の確立と未来社会における化学技術の利用についての調査研究及び応用技術の確立を行う。
バイオアーキテクチャーセンター	平. 17	生物機能の解析、高度活用及びデザインに関する技術の総合的な研究開発を行い、生物機能デザイン等の技術に基づいた物質生産プロセスの開発拠点を構築するとともに産官学連携を推進する研究開発の場を提供し、社会・産業へ貢献する。
鉄鋼リサーチセンター	平. 17	鉄鋼の製造技術や新しい材料開発に関連して、大学と企業が共同で解決すべき課題について産学連携で取り組み、得られた研究成果を実際の鉄鋼生産に結びつけていくための国家プロジェクト研究や大型プロジェクト研究に展開させる。
デジタルメディスン・イニシアティブ	平. 17	生命情報学とコンピュータモデリング(ドライ研究)を積極的に導入し、要素情報を多次元(生化学、電気、機械等)、多階層(遺伝子、分子、細胞、組織、固体)の生体システムとして再構築し、シミュレーター・デジタルペイシエントの開発を行う。
アジア総合政策センター	平. 17	経済的な発展と国土の開発が進む現代アジアを総体的に捉え、政府、自治体、企業、市民社会に対し、有益かつ有効な政策提言の行える調査・研究を行う。
低温センター	平. 18	低温実験等に不可欠な液体ヘリウム、液体窒素等を安全かつ安定的に供給するとともに、寒剤利用者に対する保安教育及び寒剤利用者の低温実験等の支援を行う。